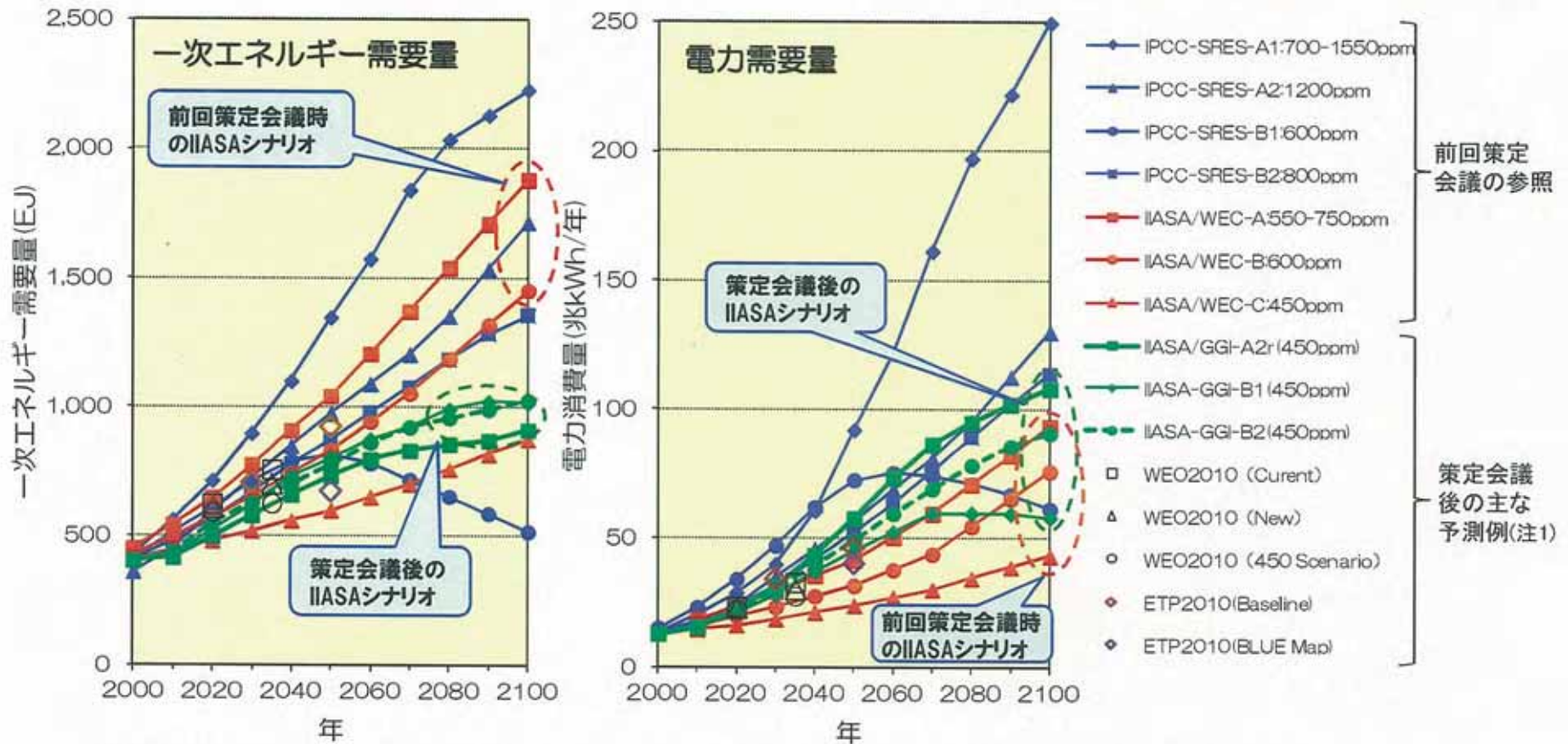


I. 前回の政策大綱策定時からの環境の変化

世界の一次エネルギーと電力の需要見通し

- より厳しいCO₂制約シナリオが主流になってきている
- 一次エネルギー需要量は、省エネ等で低減の方向
- 電力需要量は、脱CO₂を目指した電力利用へのシフトで増加の傾向



(注1) ①IIASA/GGI: International Institute for Applied System Analysis (IIASA) Greenhouse Gas Initiative (GGI) Scenario Database, 2011
 See also the special issue on the GGI scenarios, forthcoming in Technological Forecasting and Social Change (Vol. 74/8-9, October/November 2007).
 ②WEO2010: World Energy Outlook 2010, IEA
 ③ETP2010: Energy Technology Perspective 2010, IEA

福島事故の各国原子力政策への影響

- 世界的に原子力発電推進の動き。福島原発事故前後で多くの国々の政策に変更なし
- 事故前に脱原発政策を見直していた国は、事故後再び脱原発政策に回帰
- 世界の高速炉実用化計画は着実に進行

◆世界の原子力導入・利用計画

- ◆ ドイツ、イタリアを除くG8各国は利用拡大を維持
- ◆ アジアでは大幅増設計画を維持
- ◆ 新規導入を計画している国の多くは計画を維持（但し、インドネシア等一部の国は慎重姿勢）
- ◆ ドイツ、イタリア、ベルギー、スイスは脱原発政策に回帰

◆世界の高速炉開発・利用計画

- ◆ フランス・韓国は実用化計画発表
- ◆ ロシアは開発予算を大幅増額
- ◆ 中国は自主技術のみならずロシアと協力して実用化促進
- ◆ インドは高速炉開発計画を促進
- ◆ 米国・EUはR&D継続